



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年4月26日

上場会社名 日本電気硝子株式会社  
 コード番号 5214 URL <https://www.neg.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 松本 元春  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 津田 幸一  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 077-537-1700

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	67,809	13.7	4,947	30.9	6,326	23.4	3,877	23.8
2018年12月期第1四半期	78,609	18.7	7,162	9.5	5,126	13.2	3,131	24.4

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 8,453百万円 ( %) 2018年12月期第1四半期 4,263百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	40.14	
2018年12月期第1四半期	31.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	721,518	524,576	72.1
2018年12月期	725,320	521,547	71.2

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 519,919百万円 2018年12月期 516,451百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となります。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		50.00		50.00	100.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		50.00		60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	145,000	6.2	10,000	28.8	9,000	22.3	8,000	1.0	82.81
通期	305,000	1.6	25,000	0.5	22,000	10.9	18,000	18.4	186.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料8ページ2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は添付資料8ページ2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期1Q	99,523,246 株	2018年12月期	99,523,246 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2019年12月期1Q	2,918,491 株	2018年12月期	2,918,451 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期1Q	96,604,777 株	2018年12月期1Q	99,469,447 株
-------------	--------------	-------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。詳細は添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

[第1四半期連結累計期間]

## ①概況

米中通商問題による影響や欧州、中国の景気減速など、世界経済は不透明感が増してきました。国内においても、雇用や所得環境の改善がある一方で、輸出や生産の一部に弱さが見られました。

このような中、当第1四半期(2019年1月1日～3月31日)においては、主力の液晶ディスプレイ(LCD)用基板ガラスやガラスファイバにおいて得意先の生産調整等の影響により出荷が減少し、売上高は前年同四半期(2018年1月1日～3月31日)を下回る結果となりました。

損益面では、営業利益が前年同四半期を下回りましたが、経常利益、四半期純利益についてはこれを上回りました。

## ②経営成績

	前第1四半期連結累計期間 (2018/1～2018/3) (億円)	当第1四半期連結累計期間 (2019/1～2019/3) (億円)	増減 (%)
売上高	786	678	△14
営業利益	71	49	△31
経常利益	51	63	23
親会社株主に帰属する四半期純利益	31	38	24

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (製品別売上高)

報告 セグメント	区分	前第1四半期連結累計期間 (2018/1～2018/3)		当第1四半期連結累計期間 (2019/1～2019/3)		増減	
		金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	金額 (億円)	比率 (%)
ガラス事業	電子・情報	385	49	352	52	△32	△9
	機能材料・その他	401	51	325	48	△75	△19
合計		786	100	678	100	△107	△14

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

## (売上高)

## 電子・情報：

LCD用基板ガラスは、得意先の生産調整等の影響を受け出荷が減少しました。モバイル端末用カバーガラス(化学強化専用ガラス)、電子デバイス用ガラスは季節要因の影響を受けつつも全般的には底堅く推移しました。光関連ガラスや太陽電池用基板ガラスは低調でした。

## 機能材料・その他：

ガラスファイバは、主として自動車部品向け高機能樹脂用途や風力発電用風車ブレード用途において得意先の生産調整の影響を受け出荷が減少しました。耐熱ガラスや建築用ガラスは低調でした。

## (損益面)

営業利益については、販売の減少に加え米国ガラス繊維事業子会社の生産性改善の遅れや原燃料価格の上昇等が影響し前年同四半期を下回りました。一方、経常利益と四半期純利益については、主として一部の海外子会社への融資に係る債権債務の評価替えによる為替差益の影響により前年同四半期を上回りました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(2019年12月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想)

	2019年12月期 第2四半期連結累計期間 (2019/1～2019/6) (億円)	2019年12月期 通期 (2019/1～2019/12) (億円)
売上高	1,450	3,050
営業利益	100	250
経常利益	90	220
親会社株主に帰属する当期純利益	80	180

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しています。

米中通商問題や欧州、中国の景気減速、英国のEU離脱問題など、世界経済は先行き予断を許さない状況が続くものと見込まれます。国内においては、引き続き緩やかな成長が期待されるものの、動向には十分留意する必要があります。

このような中、「電子・情報」の分野においては、LCD用基板ガラスの出荷は緩やかに伸長し、電子デバイス用ガラスや光関連ガラスにおいても下期にかけて関連市場の需要動向に沿って復調していくものと予想しています。

「機能材料・その他」の分野においては、ガラスファイバは在庫の調整が一巡し緩やかに回復するものと期待しています。医療用管ガラスについては下期にかけて中国の需要増加を拡販につなげ、耐熱ガラスや建築用ガラスについては下期にかけて関連市場が回復すると期待しています。

損益面では、市場環境や原燃料価格等の動向に留意する必要がありますが、生産性の改善や費用削減等の取り組みを通して、収益性の向上に努めていきます。

以上を踏まえ、当社グループの2019年12月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しについては、上表のとおり前回発表予想(2019年2月5日)を据え置くこととします。

本資料に記載されている業績予想は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素としては、世界の市場における経済情勢、貿易規制などの各種規制、主要市場における製品需給の急激な変動、資本市場での相場的大幅な変動、為替相場や金利の大幅な変動などの金融情勢、急激な技術変化などが含まれますが、これ以外にも様々な要素があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	116,785	106,554
受取手形及び売掛金	56,795	53,955
商品及び製品	40,498	45,439
仕掛品	1,583	2,625
原材料及び貯蔵品	26,034	26,010
その他	6,235	7,306
貸倒引当金	△191	△194
流動資産合計	247,741	241,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	83,170	82,292
機械装置及び運搬具(純額)	276,102	274,731
その他(純額)	27,267	29,966
有形固定資産合計	386,540	386,990
無形固定資産		
のれん	19,072	18,507
その他	12,864	12,868
無形固定資産合計	31,937	31,376
投資その他の資産		
その他	59,138	61,479
貸倒引当金	△38	△24
投資その他の資産合計	59,100	61,455
固定資産合計	477,578	479,821
資産合計	725,320	721,518

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,781	39,628
短期借入金	33,351	22,771
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,450	1,948
その他の引当金	2,168	1,593
その他	26,239	27,631
流動負債合計	112,992	103,573
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	46,653	47,404
特別修繕引当金	17,774	17,742
その他の引当金	20	20
退職給付に係る負債	1,665	1,710
その他	4,666	6,491
固定負債合計	90,780	93,368
負債合計	203,772	196,941
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	32,155	32,155
資本剰余金	34,365	34,365
利益剰余金	448,909	447,954
自己株式	△10,308	△10,308
株主資本合計	505,121	504,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,481	21,513
繰延ヘッジ損益	108	604
為替換算調整勘定	△8,260	△6,366
その他の包括利益累計額合計	11,330	15,752
非支配株主持分	5,095	4,656
純資産合計	521,547	524,576
負債純資産合計	725,320	721,518

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	78,609	67,809
売上原価	60,356	53,176
売上総利益	18,253	14,632
販売費及び一般管理費	11,090	9,684
営業利益	7,162	4,947
営業外収益		
受取利息	131	144
受取配当金	236	416
為替差益	—	1,052
その他	333	418
営業外収益合計	701	2,031
営業外費用		
支払利息	504	213
為替差損	1,769	—
その他	464	438
営業外費用合計	2,738	652
経常利益	5,126	6,326
特別利益		
固定資産売却益	125	149
特別利益合計	125	149
特別損失		
固定資産除却損	—	320
事業構造改善費用	10	—
特別損失合計	10	320
税金等調整前四半期純利益	5,240	6,155
法人税等	2,006	2,124
四半期純利益	3,234	4,031
非支配株主に帰属する四半期純利益	102	153
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,131	3,877



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	3,234	4,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,897	2,031
繰延ヘッジ損益	306	496
為替換算調整勘定	△3,847	1,859
退職給付に係る調整額	△18	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	34
その他の包括利益合計	△7,497	4,422
四半期包括利益	△4,263	8,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,366	8,299
非支配株主に係る四半期包括利益	102	153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

(会計方針の変更)

米国を除く在外連結子会社では、当第1四半期連結会計期間の期首から「リース」(IFRS第16号)を適用しています。当該会計基準の適用に伴い、当第1四半期連結貸借対照表において有形固定資産のその他が1,373百万円、流動負債のその他が232百万円、固定負債のその他が1,144百万円それぞれ増加しています。なお、当第1四半期連結損益計算書への影響は軽微です。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しています。